

## 平成 18 年 7 月 豪雨 ～伊那谷で 7 名が活動～

7月15日より降り始めた雨は、長野県中南部を中心に18日夕方以降激しさを増して総雨量529mm（大田切観測所）に達する大雨「平成18年7月豪雨」となり、天竜川上流部の北殿観測所では計画高水位を上回るとともに、伊那富、伊那の両観測所では伊那谷の未曾有の災害と言われた「36災害」を上回る観測以来最大流量を記録しました。

この豪雨により、箕輪町松島北島地先の天竜川の決壊をはじめ、諏訪湖周辺の浸水被害、岡谷市や辰野町等の土石流被害、辰野町や伊那市等のがけ崩れによる被害が発生し、死者行方不明11名の尊い犠牲者を出すこととなってしまいました。



天竜川の出水状況 伊奈地区



沈下した橋梁 沢渡地区

7月19日午前11時、天竜川上流河川事務所長より防災エキスパートの出動要請があり、まず小笠原、岩下、美濃部、小松、南坂の5名のエキスパートが、伊那出張所及び駒ヶ根出張所に出動し、天竜川上流部の被災状況の把握と伝達に当たっていただきました。

伊那出張所の管内では、午前10時頃に箕輪町松島北島地先において天竜川右岸堤防が決壊しており、非常に緊迫した状況が続く中、決壊現場を中心とした被災状況や応急復旧対策に関する情報収集等の活動を行っていただきました。

後に村上エキスパートにも出動をお願いし、被災現場での活動に奔走していただきました。

駒ヶ根出張所の管内は山間狭窄部が多くて通行できる道路が限られており、そこに土砂崩壊が発生して迂回を余儀なくされるなど、現地に到達することが困難な箇所も何か所もあったようですが、それを乗り越えて行われたエキスパートの活動により、駒ヶ根市中平、中川村田島、松川町生田地先等では護岸の洗掘が発生していることが確認され、的確な水防活動や応急復旧対策につなげていただきました。

今年エキスパートに加入した大島エキスパートも早速出動し、決壊した箕輪町の情報収集とその伝達に従事していただきました。



松島北島地先の破堤直後



寸断された道路

今回の出水では大変困難な現地状況の中、7人のエキスパートの方の的確に被災状況を把握していただいたことが、被害の拡大を最小限に食い止めることになったと考えられ、天竜川上流河川事務所長より深い感謝の言葉をいただきました。

不眠不休で活動されたエキスパートの皆さまに、心より敬意を表します。

〔長野地区事務局記〕

## 「複合型災害防災実動訓練」について ～中部地方整備局企画部防災課～



私たちが住む中部地方は、狩野川台風、伊勢湾台風、東海豪雨などで過去に甚大な被害を被っており、また、東海地震等の大規模地震の発生も危惧されています。そのため水害と地震に同時に襲われる複合型災害も懸念されています。

このような状況を踏まえて中部地方整備局では、5月21日（日）午前、愛知県弥富市弥富ふ頭において、地震と台風による大雨・高潮がほぼ同時に発生した状況を想定した、「複合型災害防災実動訓練」を行いました。

参加機関は自治体や自衛隊など24機関で、総勢600名が参加しました。また当日会場では、防災機関の関係者や一般の方など多数の方が訓練をご覧になりました。なお、この模様は後日、NHKテレビでも放送されましたので、ご覧になった方も見えるかもしれません。

当日は、江崎国土交通副大臣、愛知県知事、名古屋市長などの挨拶のあと、下記のとおり気象状況に対応した9つの訓練を行いました。

それぞれの訓練の主な内容を簡単に説明します。

### ◎台風接近による前線降雨対応

#### ①気象警報発表訓練

名古屋地方気象台による気象情報や台風情報等についての発表訓練

#### ②水防訓練

地元水防団による土のう設置訓練、整備局による排水ポンプ車の設置訓練

### ◎東海・東南海地震被害対応

#### ③情報提供・水門閉鎖等訓練

名古屋港管理組合や整備局が管理する水門等の閉鎖訓練

#### ④救出・患者搬送訓練

県警レスキュー隊等による土砂埋没車両や倒壊家屋からの救出訓練、医療関係者によるトリアージ訓練

#### ⑤道路啓開・緊急復旧訓練

自衛隊と整備局による道路啓開訓練、NTT・中部電力・東邦ガスによるライフライン復旧訓練

#### ⑥浸水被害者救助訓練

海上保安庁・自衛隊・県警・地元消防組合等によるヘリコプターや船舶を使った浸水地域に取り残された人の救助訓練

#### ⑦海上・港湾施設啓開訓練

海上保安庁の巡視船による船舶火災消火訓練、整備局の清龍丸による油回収訓練

### ◎超大型台風接近による高潮被害に備えた対応

#### ⑧緊急物資輸送訓練

整備局ヘリコプター、海上保安庁巡視船、自衛隊車両が連携した輸血用血液、救護物資の輸送訓練

#### ⑨高潮・堤防等沈下修復訓練

自衛隊や整備局のヘリコプターやクレーン車による大型土のうを用いた損壊堤防の応急復旧訓練



排水ポンプ車の設置訓練



土砂埋没車両救出訓練



船舶火災消火訓練

この訓練の準備は年明けから進めましたが、参加24機関との訓練内容等の調整はクリアしなければいけない問題が続々と発生するなど、困難の連続でした。そのため、5月21日の当日に至るまでの約5ヶ月間の毎日が訓練みたいなものでした。

しかし、各機関の担当者と議論を重ねた結果、各機関の防災事情等がわずかでも理解できたことは、今後の防災対策を行ううえで良いネットワークが築けたと思います。

今後はこのネットワークを活かして各防災機関と訓練等を通して連携を深めていきますが、今年は特に海上保安庁と、まんなか号を巡視船へ着艦する訓練や映像の共有訓練等に取り組んで、連携を強化して行く予定です。



救護物資の輸送訓練

なお、7月1日（土）と2日（日）の2日間にわたり、市民の方へ、この訓練の報告と併せて防災意識の向上を図るためのイベントを、名古屋市栄のオアシス21で行いました。両日併せて約18万人もの入場者があり、アンケートで感想を伺ったところ、ほとんどの方に防災について関心を持って頂くことができました。

## 国土交通省中部地方整備局の危機管理研修に参加して



電話がひっきりなしにかかる本番さながらの演習は、一日限りの演習としては大変有意義な研修であったと思います。私自身、庄内川工事事務所時代「東海豪雨」を、また広報官の時も様々な危機に直面した経験をしており、その時のことを思い出し、少しでもお役に立てる機会があればと思って参加いたしました。

ストーリー、役割分担などは一応あるものの、互いの内容は知らされずに始まった演習は、はじまると冷静に受け答えしていた整備局担当の人達も、時間が経つと段々目の色が変わり始め、復旧工法の検討段階に入ると、マスコミ、地域住民、議員などの電話対応など、外部との対応に右往

左往し、時間との戦いに苦慮していたのが本音ではないだろうか。

なかなか大規模の災害など経験できないし、また、したくても経験できない危機管理は、機会あるごとに積み重ねていってはじめて、いざという時に役立つことだと思っております。今後とも、経験豊かな防災エキスパートの皆様もいろいろな角度で研修などを受講していただき、次世代にも継承していただきたいと思っております。

防災エキスパート（中部建設協会企画部 吉田收三）

## 今年のエキスパートの働き

### ・危機管理演習の実施

平成18年度 危機管理演習は5月11日（木）に中部地方整備局で実施され、4名の防災エキスパートの方々が参加されました。

### ・新規登録者33名に登録書交付

今年度の登録式は6月28日（水）に開催され、33名の方が新たに登録されました。

現在までの登録者は、愛知県179名、岐阜県164名、三重県82名、静岡県75名、長野県40名であり、合計540名となっております。（H18年8月現在）

### ・代表世話役会議の実施

今年度の代表世話役会議は8月7日（月）に（社）中部建設協会で行われました。主に、9月1日（金）に実施される中部地方整備局防災訓練の内容に関して、協議しました。

## 中部地方防災エキスパート地区研修会実施状況

今年も各ブロックにおいて地区研修会が実施され、合計338名のエキスパートの方々に参加いただきました。整備局からは「最近の防災業務」についてをご説明いただき、事務局からは「H17年度活動報告」と「H18年度活動計画」について説明させていただきました。各ブロック共、防災に関する経験豊かな講師をお招きし、貴重な経験や知見に基づいた講演をしていただきました。

### 【愛知ブロック】

平成18年7月24日

防災エキスパート 113名 参加

講演：ハリケーン・カトリーナに学ぶ

講師：防災エキスパート 杉浦 宏 様



### 【静岡ブロック】

平成18年7月25日

防災エキスパート 57名 参加

講演：最近の東海地震を迎える情勢

講師：静岡県地震防災センター 小澤 邦雄 様

講演：気象台が発表する気象情報

講師：静岡地方気象台 小口 與四夫 様



### 【三重ブロック】

平成18年7月26日

防災エキスパート 53名 参加

講演：災害発生時におけるボランティア活動について

講師：三重県防災ボランティアコーディネーター

山本 康史 様



### 【岐阜ブロック】

平成18年7月27日

防災エキスパート 86名 参加

講演：ハリケーン・カトリーナの水害調査団報告について

講師：(社) 中部建設協会 深谷 壽久 様



### 【長野ブロック】

平成18年8月4日

防災エキスパート 29名 参加

講演：中越地震に学ぶ

講師：(社) 北陸建設弘済会 両角 和重 様



## 防災エキスパート登録者を随時募集中！

大規模災害発生時には災害情報の収集、伝達が非常に重要となります。

中部地区在住で河川・道路などの整備、管理に関するノウハウを持ち、防災エキスパート活動にご協力いただける方は是非申し込みをお願いいたします。

発刊：中部地方防災エキスパート事務局 (社) 中部建設協会 企画部  
名古屋市中区丸の内3-5-10 住友商事丸の内ビルディング8階  
TEL052-962-2227 FAX052-962-9083